

1 調査名称：サイン改善方策検討調査

2 調査主体：名古屋市

3 調査圏域：名古屋駅周辺

4 調査期間：平成29年度

5 調査概要：

「名古屋駅周辺交通基盤整備方針」において、乗換動線や駅からまちへの動線などにおいて、シンプルでわかりやすく一体性・連続性があるなど、案内サインの充実をすすめることで円滑な誘導を図るとしている。

本業務では、本方針に基づき案内サインの現況把握や課題整理等を行い、改善方策の検討を行う。

I 調査概要

1 調査名称：サイン改善方策検討調査

2 報告書目次

1. 現状認識

2. サイン改善方策の検討

3 調査体制

本調査は委員会、幹事会、事務局等の設置なし

4 委員会名簿等：

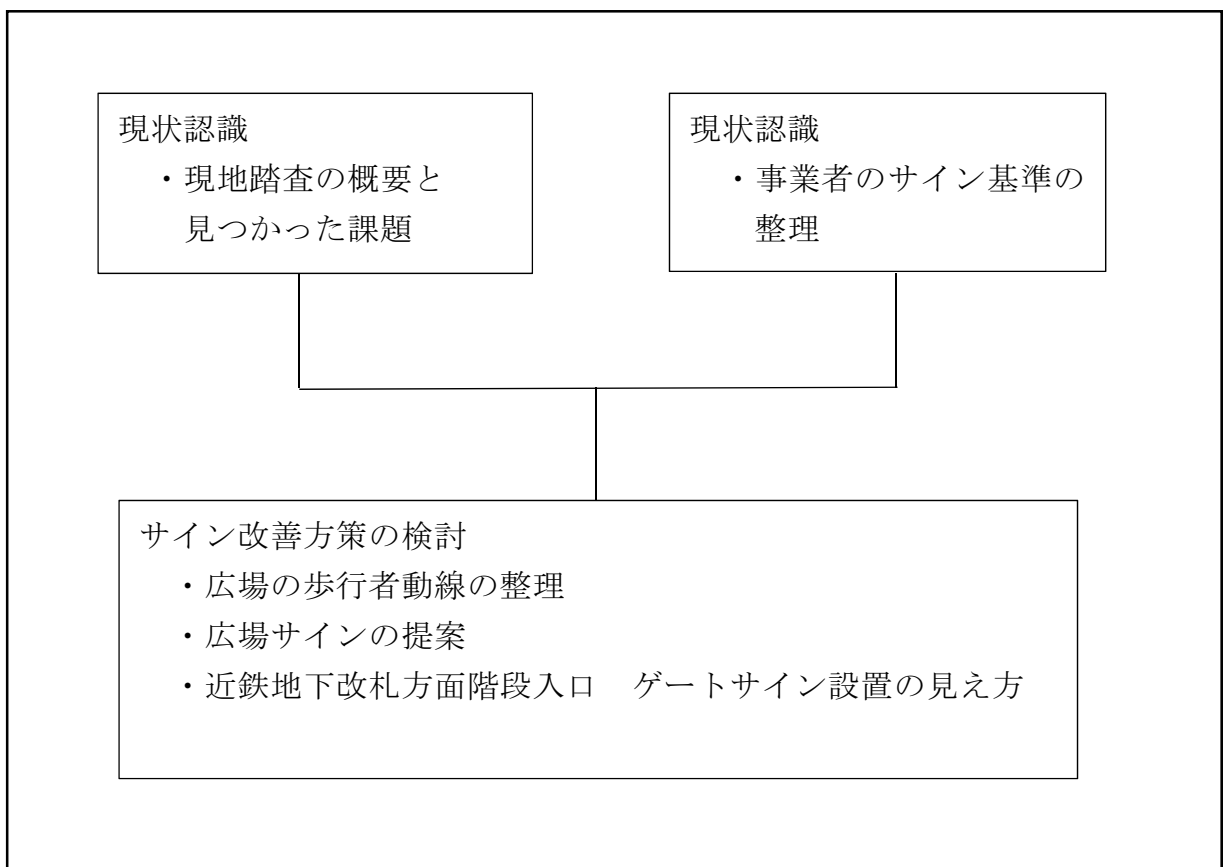
該当なし

II 調査成果

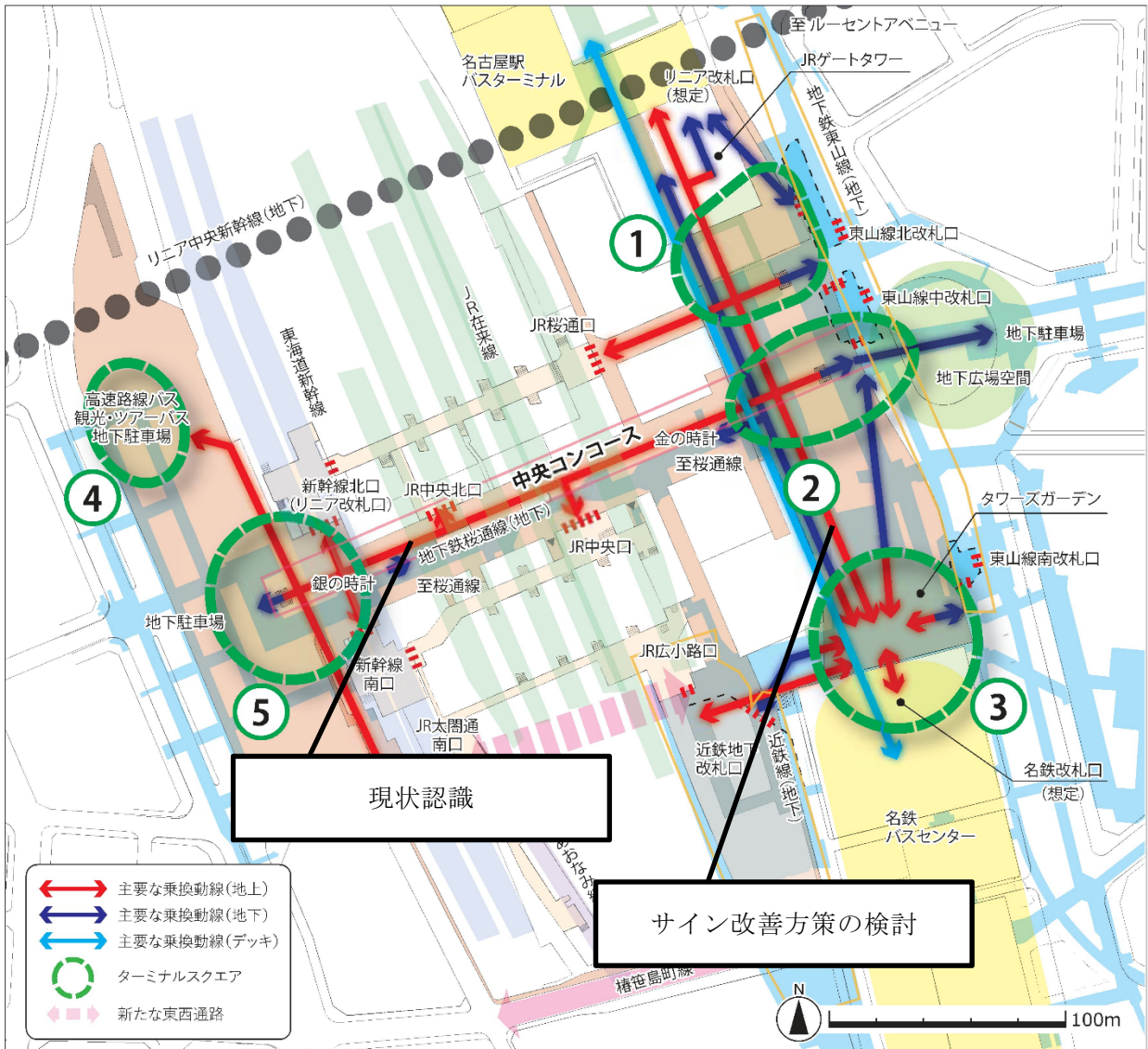
1 調査目的

本調査では、案内サインの充実に向けて案内サインの現況把握や課題整理等を行い、駅東側駅前広場のうち、ターミナルスクエア2からターミナルスクエア3への歩行者動線について、サイン改善方策の検討を行う。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

項目	内容
現状認識	<ul style="list-style-type: none">・名古屋駅中央コンコースの誘導サインについて現地踏査を行い、課題の抽出を行った。・事業者の設置基準を整理した。
サイン改善方策の検討	<ul style="list-style-type: none">・駅東側の各鉄道間の乗換ルートを整理した。・ターミナルスクエア2からターミナルスクエア3への歩行者動線について、複数のサイン設置案を作成し、サインの視認性・連続性について検討した。